

## ○市町立学校施設の耐震化の推進状況

学校施設は、災害発生時には、地域住民の応急避難所の役割を担っていることから、県では、国庫補助の活用や、技術的課題に関する指導・助言、耐震化に関する研修会の開催等を通じて、市町の耐震化完了を支援しています。

その結果、平成 28 年 4 月 1 日現在では、耐震化率が 99.4%となり、統廃合による仮利用等のやむを得ない事情のものを除けば、市町立小中学校の耐震化は概ね完了しています。

### 【県内公立小中学校校舎の耐震化状況】

H28. 4. 1 現在			【参考】 H27. 4. 1 現在 耐震化率（全国値）
完了数／全棟数	耐震化率（全国値）	未実施棟数	
5, 029／5, 059	99. 4%（98. 0%）	30	97. 4%（95. 6%）

## ○非構造部材（屋内運動場等の吊り天井等）の耐震対策の状況

校舎など建物の耐震化とともに、天井材の落下防止など、非構造部材の耐震化にも取り組んでいます。

なかでも、屋内運動場等の吊り天井等の落下防止対策は、平成 26 年度から対策工事を本格的に促進しており、平成 28 年 4 月 1 日現在では、対策率が 95.9%となり、平成 29 年度中には完了する見込みです。

なお、熊本地震では、ガラスや内外装材等の非構造部材の破損等により、避難所として使用できない学校施設が一部に見られたことから、市町に対して、非構造部材の耐震化の徹底について指導しています。

### 【屋内運動場等の吊り天井落下防止対策状況】

H28. 4. 1 現在			【参考】 H27. 4. 1 現在 耐震化率（全国値）
完了数／全棟数	対策率（全国値）	未実施棟数	
1, 231／1, 284	95. 9%（95. 0%）	53	72. 8%（72. 8%）